

令和 7 年度授業改善推進プラン

教科名

数学

○はすぐに取り組むこと

学年	指導上の課題	具体的な授業改善策（補充・発展等）
1 年	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎学力（特に計算力）の定着・向上 ・授業に主体的・積極的に取り組む姿勢の育成 ・定期考査の結果分析から 	<p>○習熟度別少人数クラスを『基礎』『標準・発展』の2コースとし、コースに応じた授業を展開する。基礎コースでは既習事項を含めた説明を行うとともに、個に応じた指導を充実させ、基礎・基本の定着を図る。標準・発展コースでは、話し合い活動等で主体的に自分の考えを他者に伝える姿勢を養うとともに、深い学びを実践していく。</p> <p>○授業で教え合いや学び合いを行い、主体的に学ぶことのできる環境を作る。</p> <p>○基本的な計算能力が低い生徒が多い。家庭学習プリントや基本の問題プリントを活用して、習得を図る。また、既習事項を活用して考える力が弱い生徒も多い。個別学習などを取り入れ、既習事項を用いて解く問題に触れる機会を増やし、習得を図る。</p>
2 年	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎学力（特に計算力）の定着・向上 ・授業に主体的・積極的に取り組む姿勢の育成 ・学力調査、定期考査の結果分析から（『思考・判断・表現』の観点の問題） 	<p>○習熟度別少人数クラスを『基礎』『標準・発展』の2コースとし、コースに応じた授業を展開する。基礎コースではより丁寧な説明を行うとともに、個に応じた指導を充実させ、基礎・基本の定着を図る。標準・発展コースでは、話し合い活動等で主体的に自分の考えを他者に伝える姿勢を養うとともに、深い学びを実践していく。</p> <p>○単元テストや定期考査を用いて、全体の到達度を確認する。学び直しの機会を設けながら授業を進める。</p> <p>○授業で教え合いや学び合いを行い、主体的に学ぶことのできる環境を作る。</p> <p>○計算問題を確実に解く力が弱い。定期的に計算問題に取り組みせ、復習する機会を作る。</p> <p>○既習事項を活用して考える力にも課題がある。基礎コースでは基礎的な問題を中心に計算力を高める課題を、発展コースでは既習事項を活用できる課題を設定していく。</p>
3 年	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎学力の向上（主に計算分野） ・授業に主体的・積極的に取り組む姿勢の育成 ・日常の事象に数学的な価値を見出し、考察していく力 	<p>○習熟度別少人数クラスを『基礎』『標準・発展』の2コースとし、コースに応じた授業を展開する。コースに応じて、個に応じた指導を充実させ、丁寧な説明を行うなど基礎・基本の定着を図る。標準・発展コースでは、思考力を養う問題に多く取り組み、自己調整学習ができるようにカリキュラムマネジメントを行っていく。</p> <p>○単元テストや定期考査を用いて、全体の到達度を確認する。学び直しの機会を設けながら授業を進める。</p> <p>○式の形式的操作の習熟に課題がある生徒が多い。式の変形やその方法について言語化し、説明する機会を定期的に設ける。</p> <p>○既習事項を活用して考える力にも課題がある。基礎コースでは基礎的な問題の中で既習事項を用いて計算の方法について演繹的に考える課題を設定し、標準・発展コースでは単元複合的な問題に取り組む中で既習事項とつなげて発想する課題を設定していく。</p>